

# 生活とお金に関するアンケート

---

2021年 2月 1日

家庭の銀行



## 調査の概要

P1

### 1. 新型コロナウイルス感染症に関する家計への影響

P2

### 2. 2021年の展望について

P3

### 3. 備えが必要（経済的に不安）と感じること

P4

### 4. お金の支払いをする際の決済方法

P5

### 5. 資産運用について

P7

# 調査の概要

## 調査目的

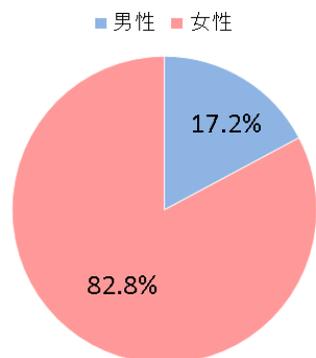
新型コロナウイルス感染拡大による経済への影響が拡大し、国内においても活動自粛など消費が抑制されております。生活環境が変化する中で青森県民のお金に関する意識について掘り下げることがを目的にアンケートを実施しました。

新型コロナウイルス感染症に関連する各種公付金についての調査やキャッシュレス決済サービスの普及状況などもお知らせします。

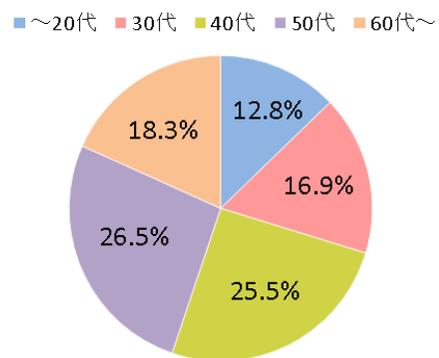
- 調査対象・・・青森県内に居住の個人 930名
- 調査方法・・・無記名による回答選択方式および自由記述方式
- 調査時期・・・2020年12月初旬～12月下旬（毎年1回）
- 回収率・・・930名（100%）

## 回答者の属性

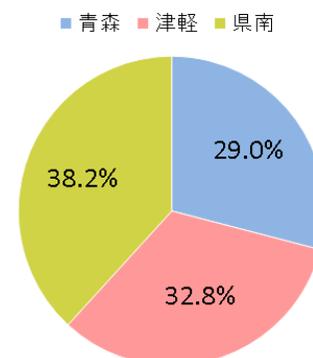
回答者の性別



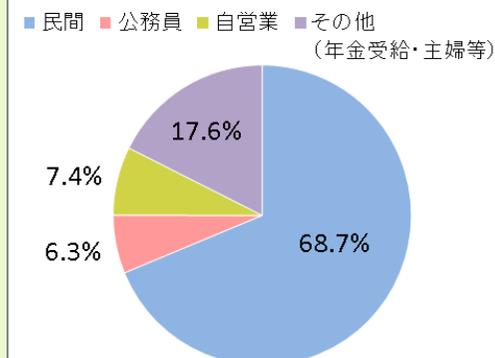
年代別



地区別

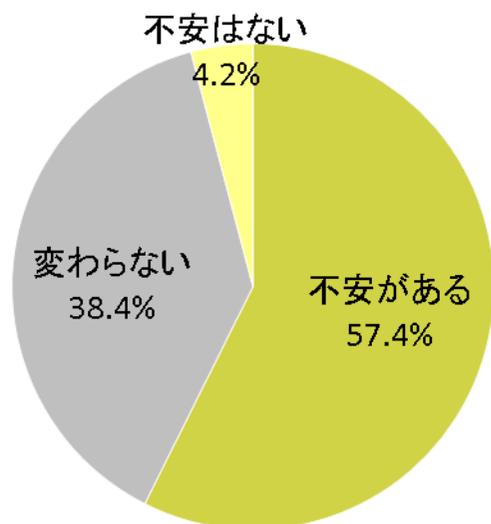


職業別

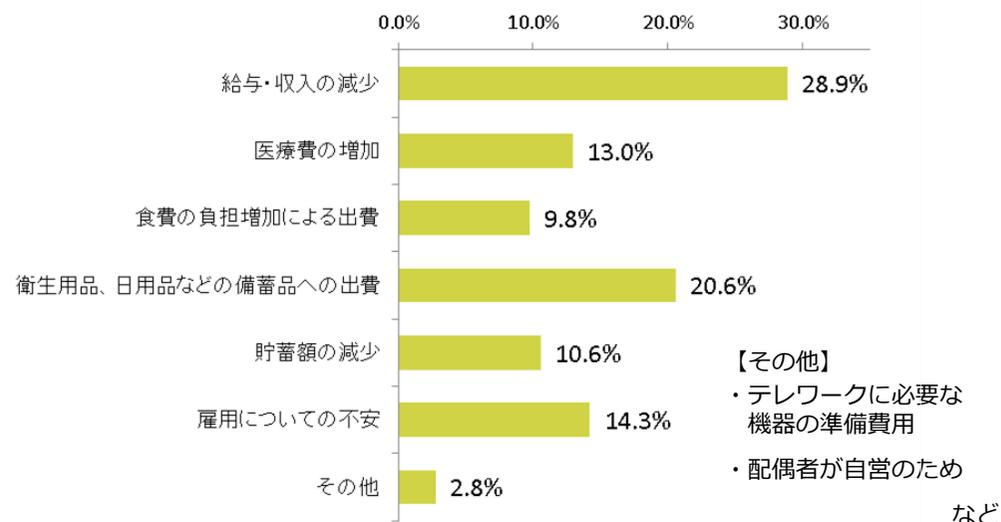


# 1. 新型コロナウイルス感染症に関する家計への影響について

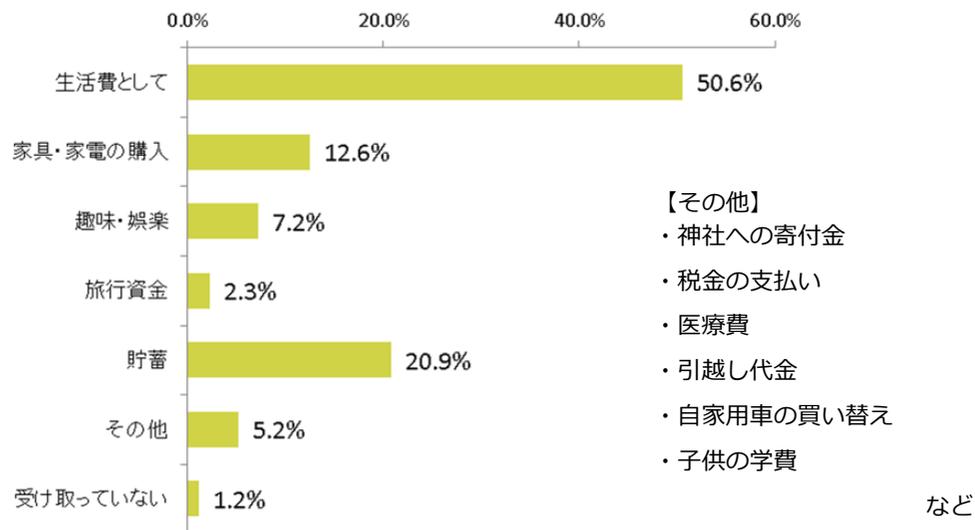
## 1-1. 新型コロナウイルス感染拡大による家計への影響についてお聞かせください。



## 1-2. 「不安がある」と回答した方はその理由を教えてください。（いくつでも）



## 1-3. 特別定額給付金などの公的給付金の主なお使いみち（予定を含む）をお聞かせください。（いずれか）



## 新型コロナウイルス感染拡大による家計への影響

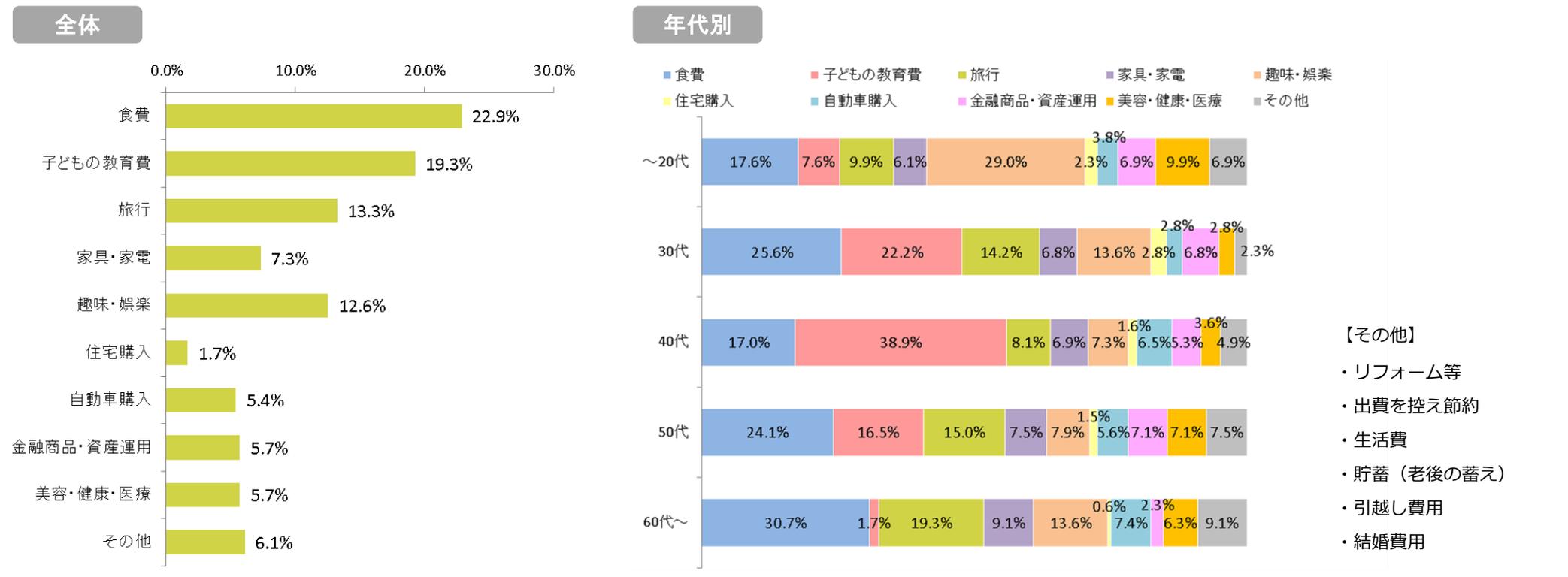
1-1. 新型コロナウイルス感染症による家計への影響について尋ねたところ「不安がある（57.4%）」となり、過半数の方が不安を感じていることがわかった。

1-2. 「不安がある」と回答した方にその理由を尋ねたところ、「給与・収入の減少（28.9%）」と最も高い割合となった。次いで「衛生用品・日用品などの備蓄品への出費（20.6%）」となった。コロナ禍における雇用や収入の減少、衛生用品が思うように手に入らなかった経験などが不安へと繋がっている結果となった。

1-3. 公的給付金の使いみちについては「生活費（50.6%）」で最も高い割合となり、次いで「貯蓄（20.9%）」となった。コロナ禍での生活を維持するため、また、先行き不透明の中で今は様子を見ようと、備える方が多い結果となった。

## 2. 2021年の展望について

### 2. 2021年は何に最もお金を使おうと考えていますか？（いずれか）



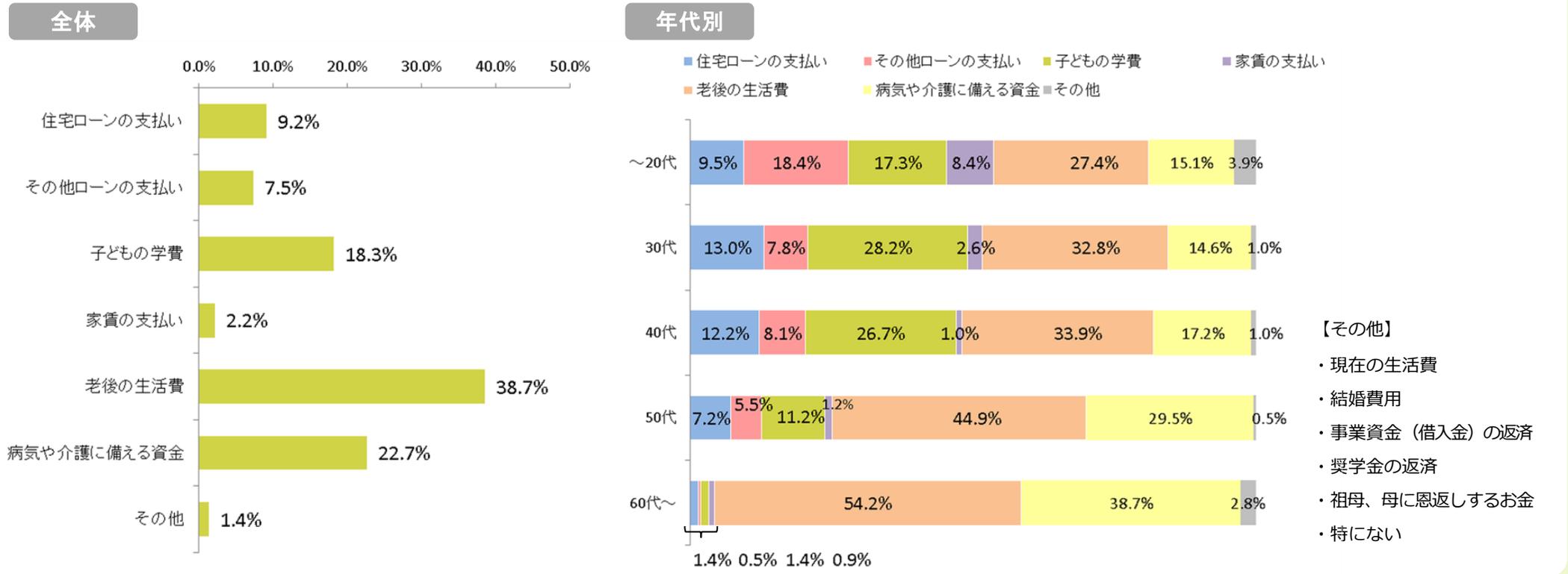
### コロナ禍における支出の変化

【全体】 2021年は何に最もお金を使う予定か尋ねたところ、「食費（22.9%）」が最も高い割合となり、昨年の「食費（13.2%）」を大幅に上回った。次いで、「子どもの教育費（19.3%）」、「旅行（13.3%）」となった。コロナ禍において、「旅行」への支出予定は昨年の「旅行（21.8%）」から減少した。

【年代別】 年代別で見ると40代の「子どもの教育費（38.9%）」が最も高い割合となった。すべての年代で「食費」が増加しており、外出自粛や在宅勤務により家計への負担が増える予想となった。

# 3. 備えが必要（経済的に不安）と感ずること

## 3. 備えが必要（経済的に不安）と感ずることはなんですか？（いくつでも）



### 人生100年時代「老後の生活費」に不安増

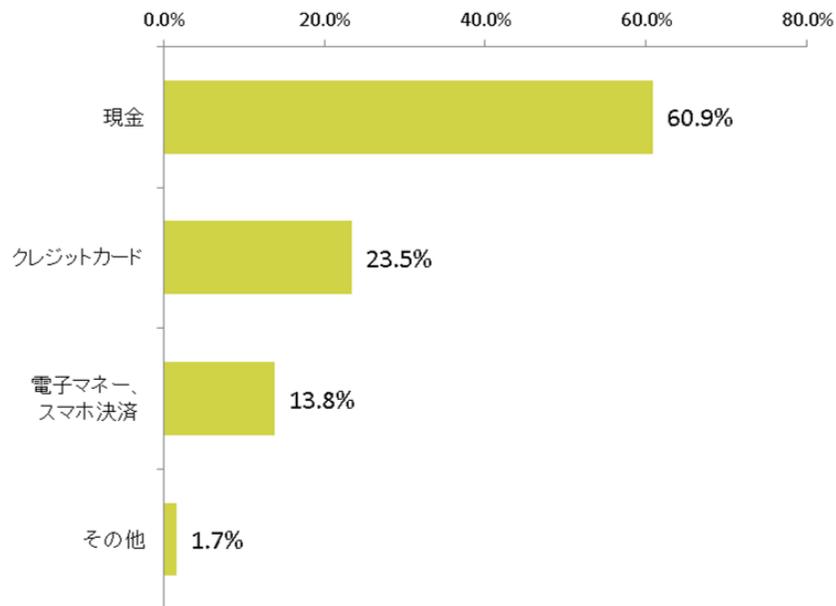
【全体】「備えが必要（経済的に不安）」と感ずることでもっとも高い割合となったのは「老後の生活費（38.7%）」となった。次いで「病気や介護に備える資金（22.7%）」、「子どもの学費（18.3%）」で昨年までとほぼ同様の結果となった。

【年代別】すべての年代で「老後の生活費」に対する割合が高く、世代を問わず老後の生活に対して経済的な不安を感ずていることがわかった。

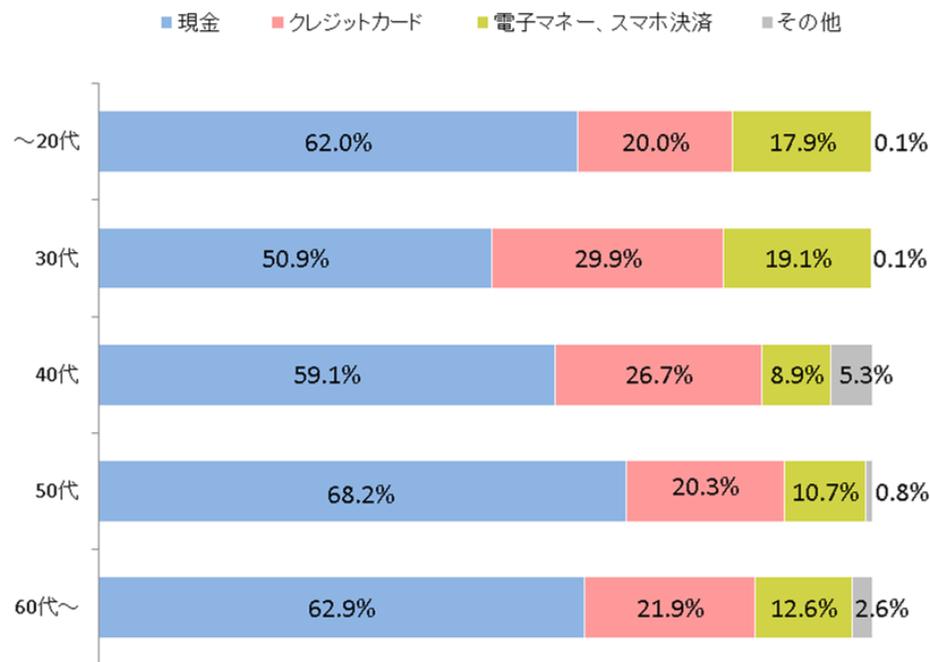
# 4. お金の支払いをする際の決済方法

## 4-1. あなたがお金を支払うときの決済方法は？

全体



年代別



【その他】

- ・プリペイドカード
- ・商品券
- ・ポイントをつかう

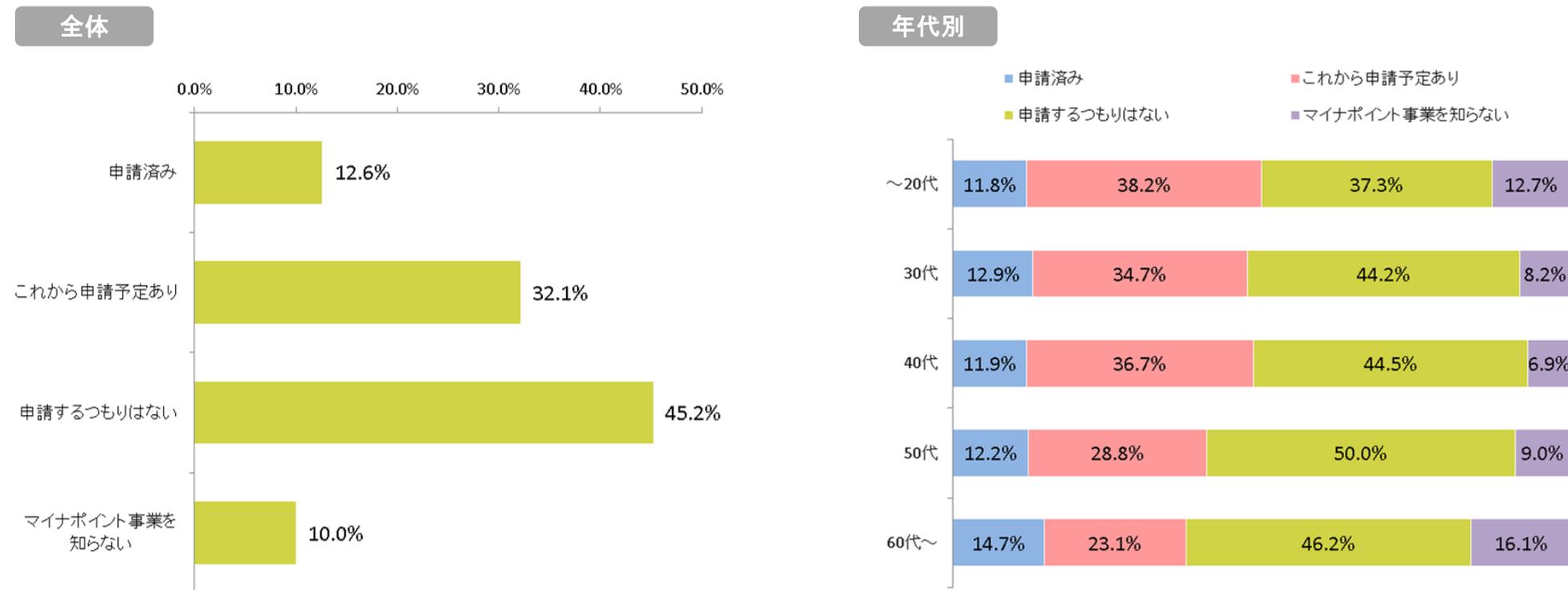
### 現金決済が減少

【全体】 お金の支払いをする際の決済方法について尋ねたところ、「現金（60.9%）」が最も高い割合となったが、昨年の「現金（64.2%）」と比較し減少した。国を挙げてキャッシュレス決済サービスの普及を進めているが、決済方法を変更した方の割合はそれほど多くない結果となった。

【年代別】 特に60代以降で「現金（62.9%）」の割合が昨年の「現金（73.0%）」と比べ大幅に減少し、「クレジットカード（昨年15.7%→21.9%）」「電子マネー決済（昨年10.8%→12.6%）」が増え、年代に関係なく少しずつキャッシュレス決済が浸透してきていることがわかった。

## 4. お金の支払いをする際の決済方法

### 4-2. 2020年9月より「マイナポイント事業」が始まりましたが、マイナポイントの申請はしていますか？



### 認知度は9割だが、利用者は5割

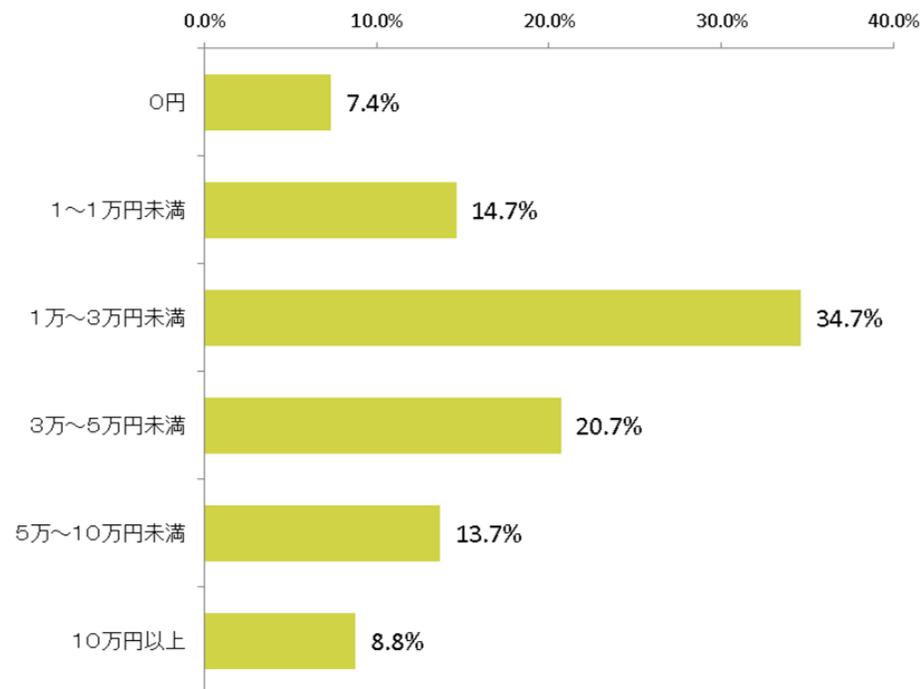
【全体】キャッシュレス決済でチャージやお買い物をするご利用額の25%が上乘せされる「マイナポイント事業」について、約90%の方が「知っている」との結果となった。しかし、「申請するつもりはない（45.2%）」と、「知っているものの利用はしない」が過半数となった。申請にあたりマイナンバーカードが必須であることや、決済方法を現金のみにしている方が複雑な仕組みに捉えていると思われる。

【年代別】「申請済み」「申請予定あり」と回答したのは20代が最も多く、次いで40代、30代と続く。20代は「マイナポイント事業を知らない（12.7%）」も60代以降に次いで多く、認知度が低い結果となった。「申請するつもりはない」と回答したのは50代以降で多く、認知度も低かった。

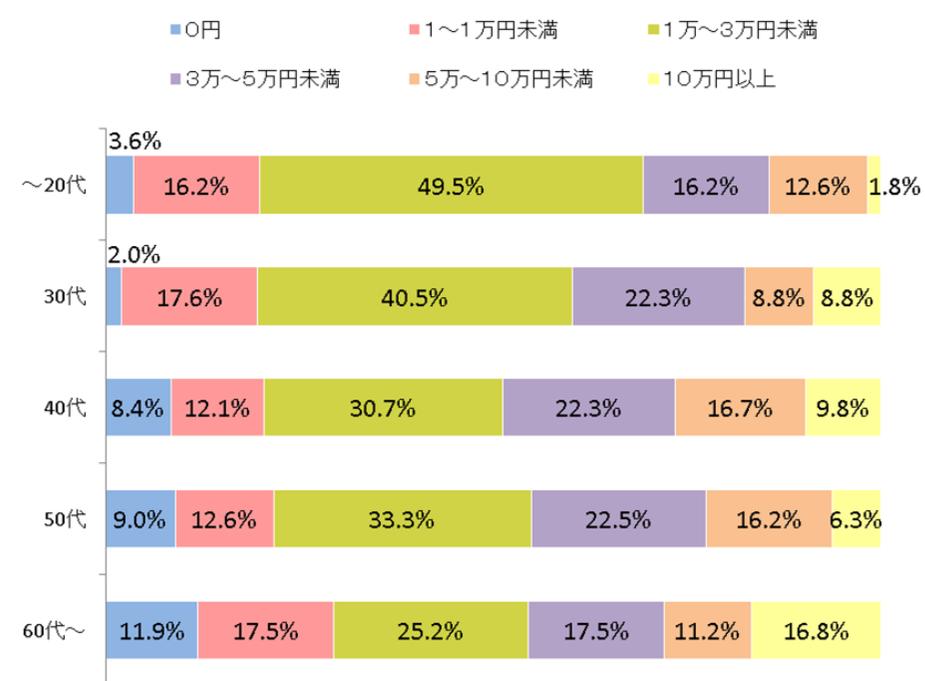
# 5. 資産運用について

## 5-1. 2020年の月間平均貯蓄額はおよそいくらでしたか？（いずれか）

全体



年代別



### 月間平均貯蓄額は「1万~3万円未満」が最多

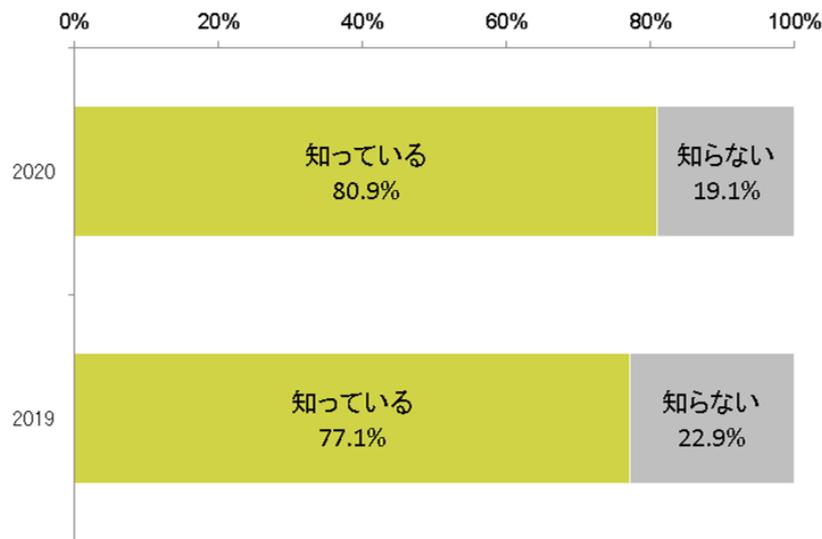
【全体】月間平均貯蓄額について尋ねたところ、「1万~3万円未満（34.7%）」が最も高い割合となった。次いで「3万~5万円未満（20.7%）」、「1~1万円未満（14.7%）」となった。

【年代別】すべての年代で「3万~5万円未満」が高い割合となったが、「0円」と回答した割合を見ると、30代が（2.0%）と最も少なく、60代以降が（11.9%）と高い割合となった。

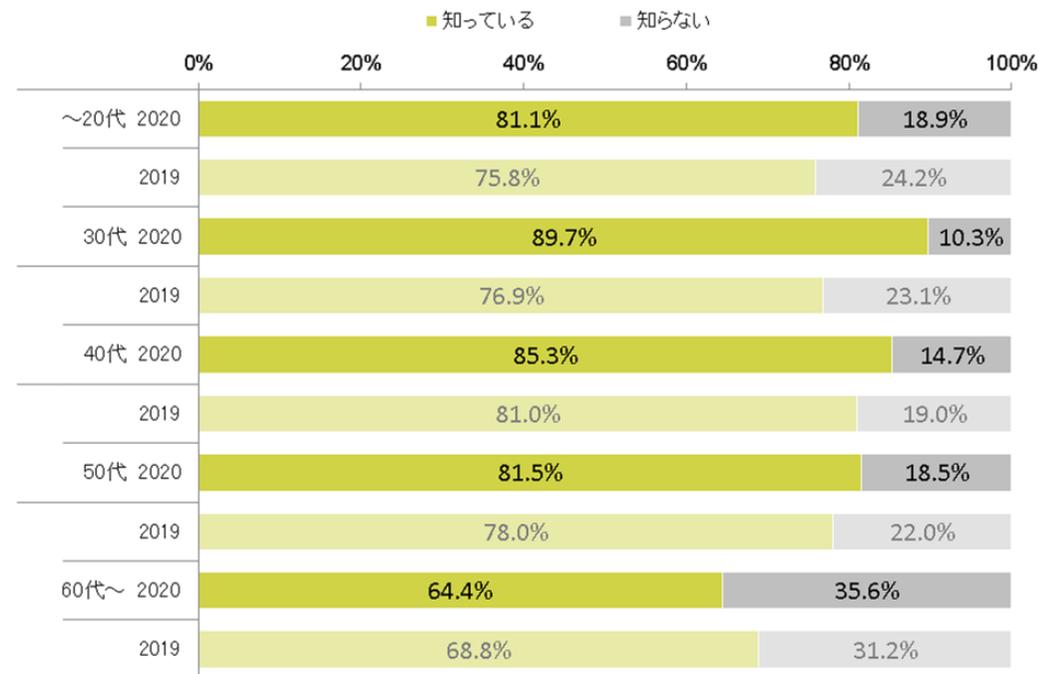
# 5. 資産運用について

## 5-2. NISA(ニーサ)やiDeCo(イデコ)等、少額からでも始められる資産形成に役立つ制度を知っていますか？ (いずれかにチェック)

全体



年代別



### 制度の周知は8割を超える

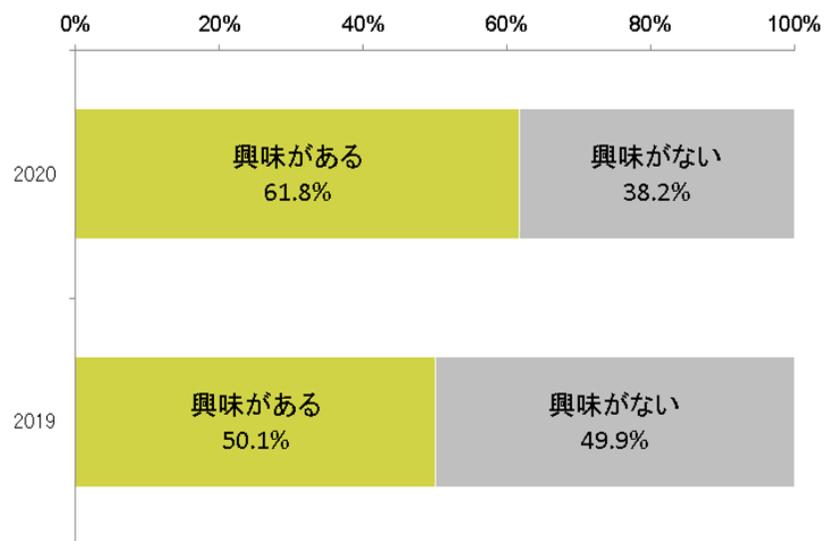
【全体】NISA(ニーサ)やiDeCo(イデコ)等、少額からでも始められる資産形成に役立つ制度を知っているか尋ねたところ、前年度比3.8ポイント増の80.9%が「知っている」と回答し、幅広い年代で制度の周知は進んでいる結果となった。

【年代別】30代で「知っている」割合は、前年比12.8ポイント増の89.7%と最も高い割合となった。ほとんどの年代で「知っている」割合は増加したものの、60代以降では前年比4.4ポイント減少した。

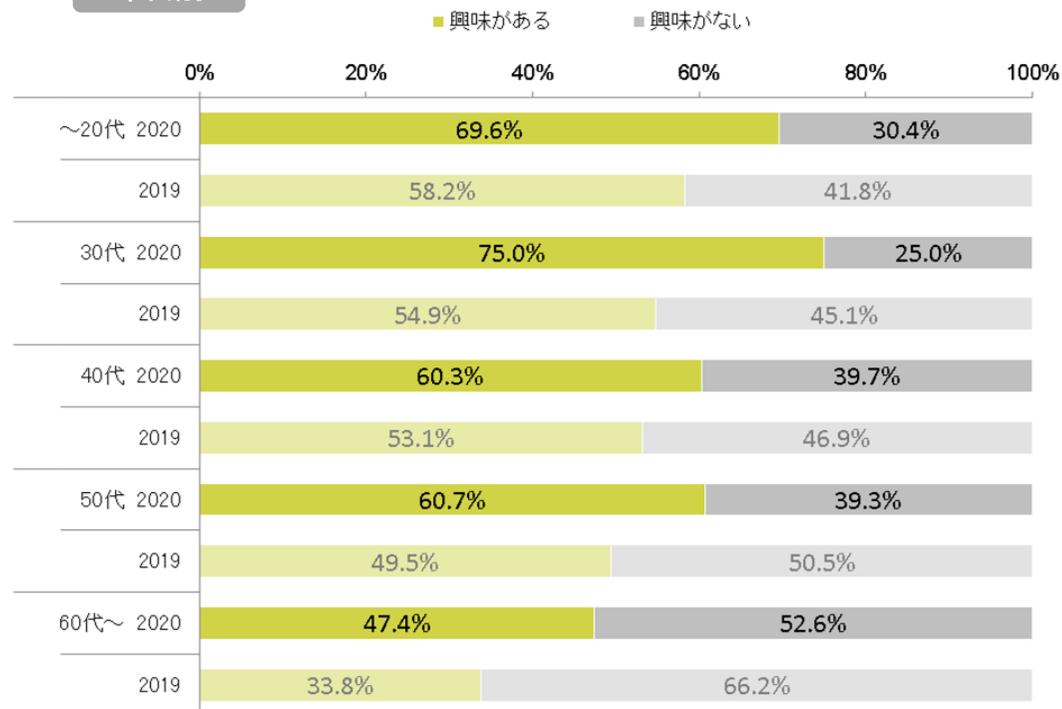
# 5. 資産運用について

## 5-3. 資産運用に興味はありますか？（いずれかにチェック）

全体



年代別



### すべての年代で「興味がある」が増加

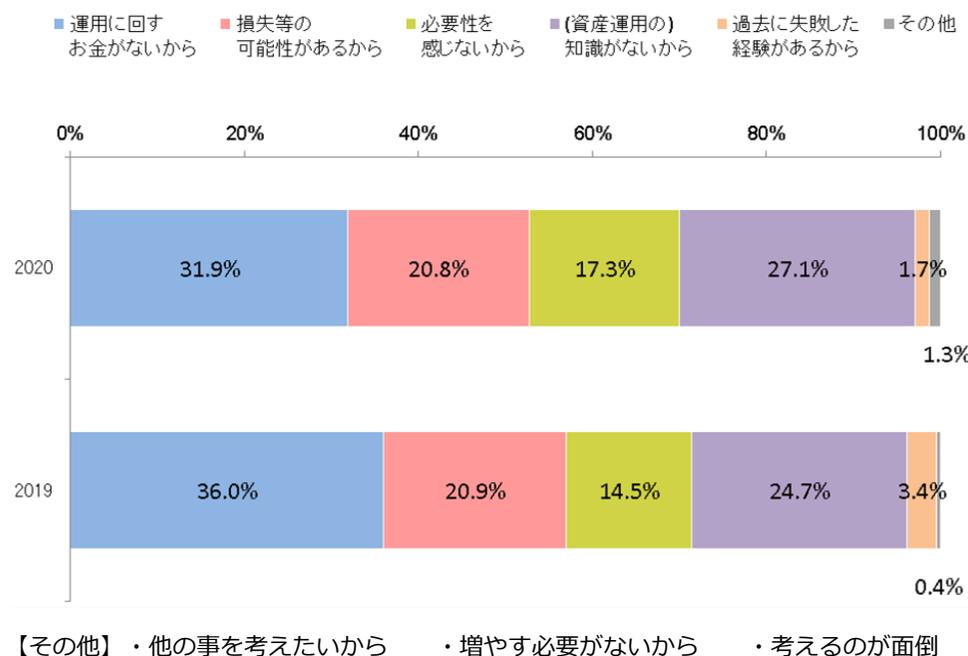
【全 体】資産運用に興味があるか尋ねたところ、「興味がある」と回答した割合は前年比11.7ポイント増の61.8%と大きく増加した。

【年代別】すべての年代で「興味がある」が増加しており、特に30代では20.1ポイント増の75.0%となった。老後に備える資産運用について注目が集まっている結果となった。

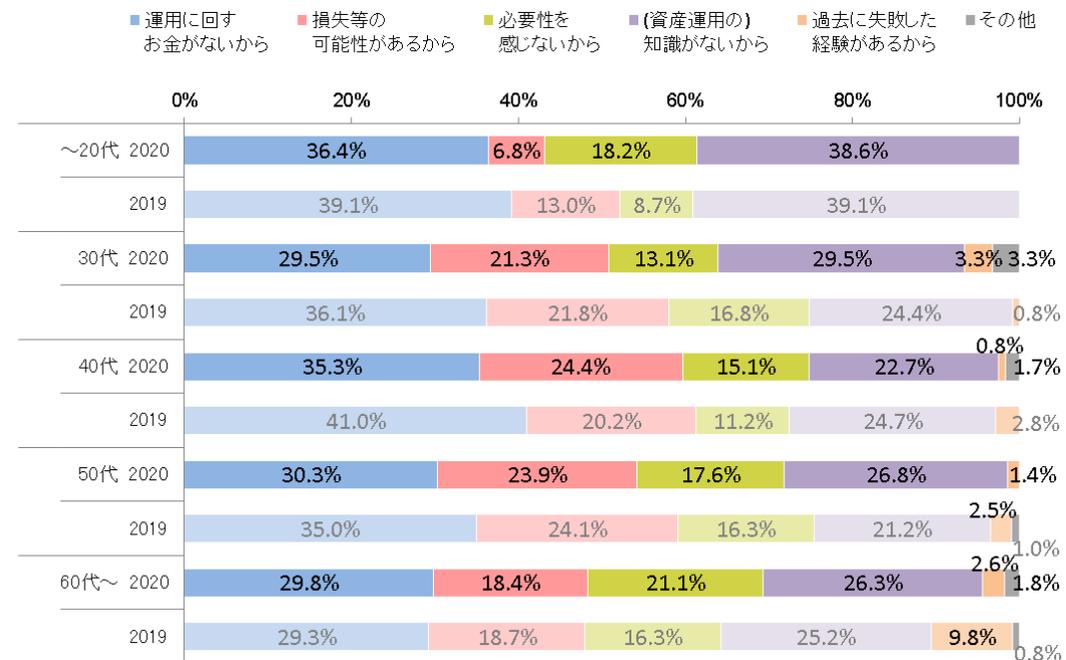
# 5. 資産運用について

## 5-3-1. 資産運用に「興味がない」理由を教えてください。(いずれかにチェック)

### 全体



### 年代別



### 「運用に回すお金がない」割合が高い

【全体】 質問5-3. で資産運用に「興味がない(38.2%)」と回答した人に「興味がない」理由を尋ねたところ、「運用に回すお金がない(31.9%)」が最も高い割合となった。次いで、「(資産運用の)知識がない(27.1%)」となった。

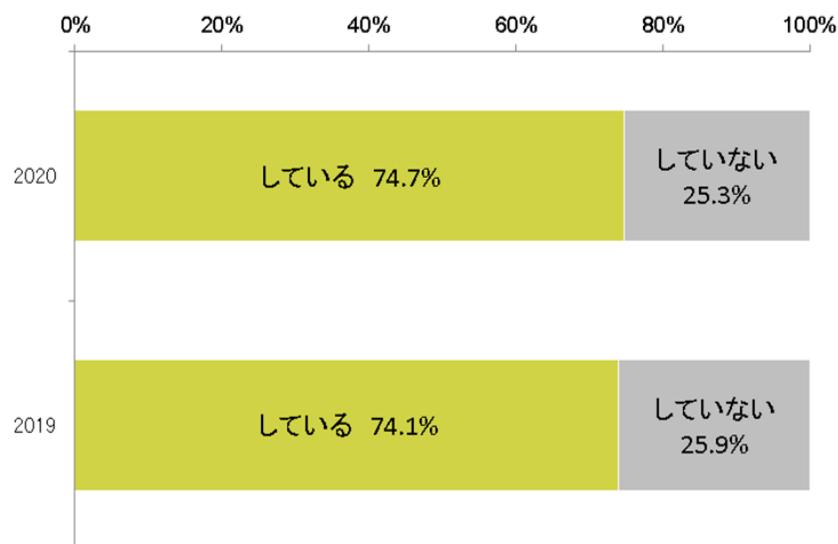
また、「必要性を感じない(17.3%)」は前年比2.8ポイント増加しており、制度を知っていても利用するつもりが無い方が増えたことがわかった。

【年代別】 ほとんどの世代で「運用に回すお金がない」の割合が高かったものの、20代では「(資産運用の)知識がない(38.6%)」が最も高い割合となった。

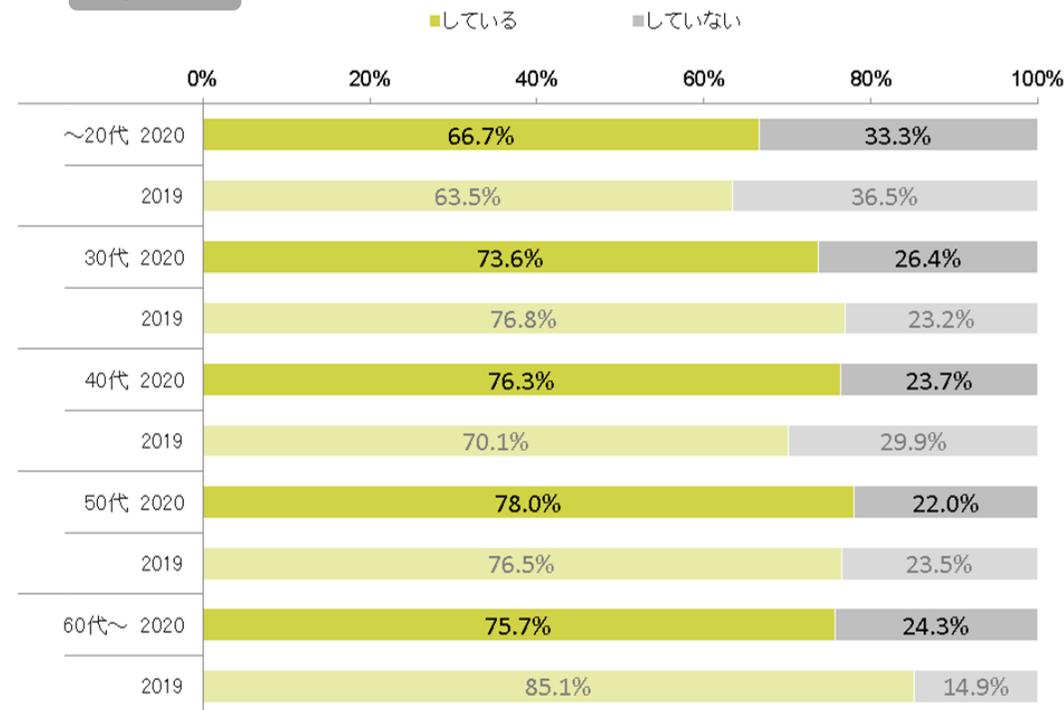
## 5. 資産運用について

### 5-4. 現在、何かしらの資産運用はしていますか？（いずれかにチェック）

全体



年代別



### 興味がある方の7割以上が資産運用をしている

【全体】質問5-3. で資産運用に「興味がある（61.8%）」と回答した人に資産運用をしているか尋ねたところ、「している」と回答した割合が前年比0.6ポイント増の74.7%となった。資産運用に「興味がある」人の大半はすでに資産運用を開始しているとの結果となった。

【年代別】50代では前年比1.5ポイント増の78.0%と最も高い割合となった。20代では2018年（53.8%）→2019年（63.5%）→2020年（66.7%）と、年々資産運用を開始している割合が増えていることがわかった。

# 5. 資産運用について

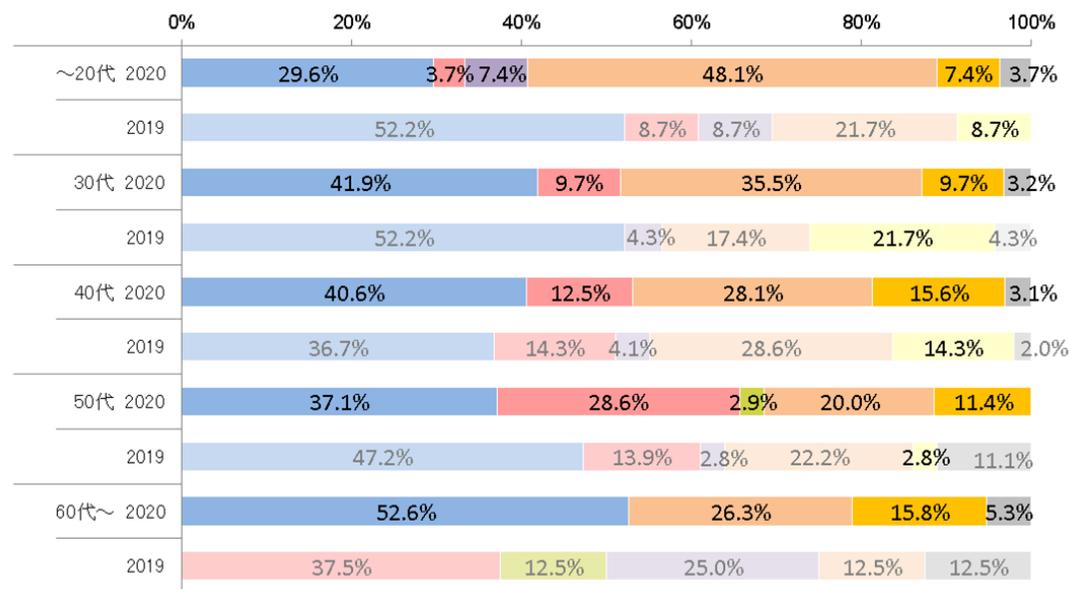
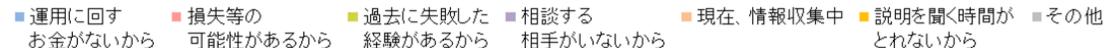
## 5-4-1. 資産運用を始めていない一番の理由を教えてください。(いずれかにチェック)

### 全体



【その他】・興味がないから

### 年代別



### 興味はあるが、「運用に回すお金がない」が最多

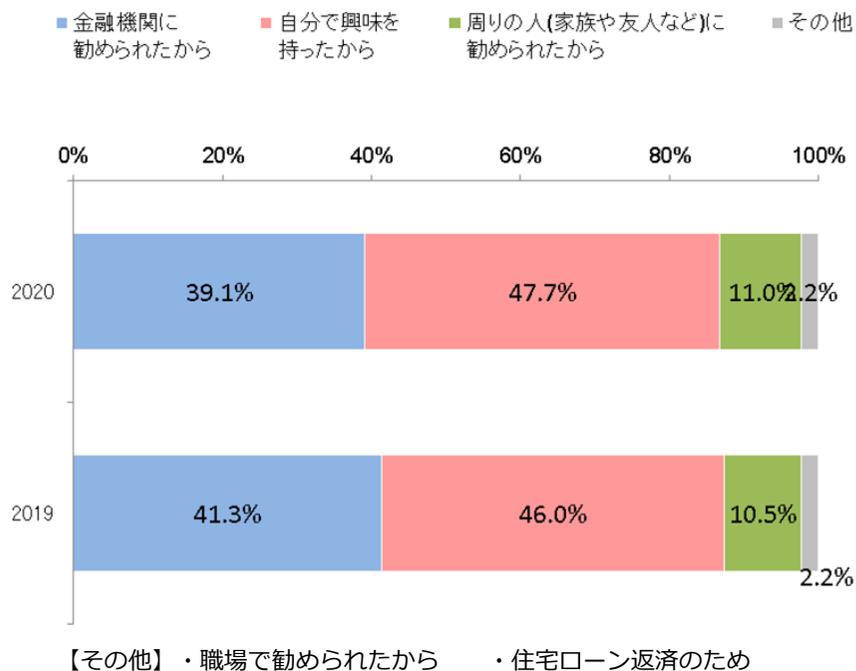
【全体】質問5-4.で資産運用を「していない(25.3%)」と回答した人に、資産運用を始めていない一番の理由を尋ねたところ、「運用に回すお金がない(39.6%)」最も高い割合となった。次いで「情報収集中(31.3%)」となった。

【年代別】20代の「情報収集中(48.1%)」が最も高い割合となった。若い世代に、資産運用について必要な情報をお伝えしたり、相談できる機会を増やしていくことが必要であることがわかった。

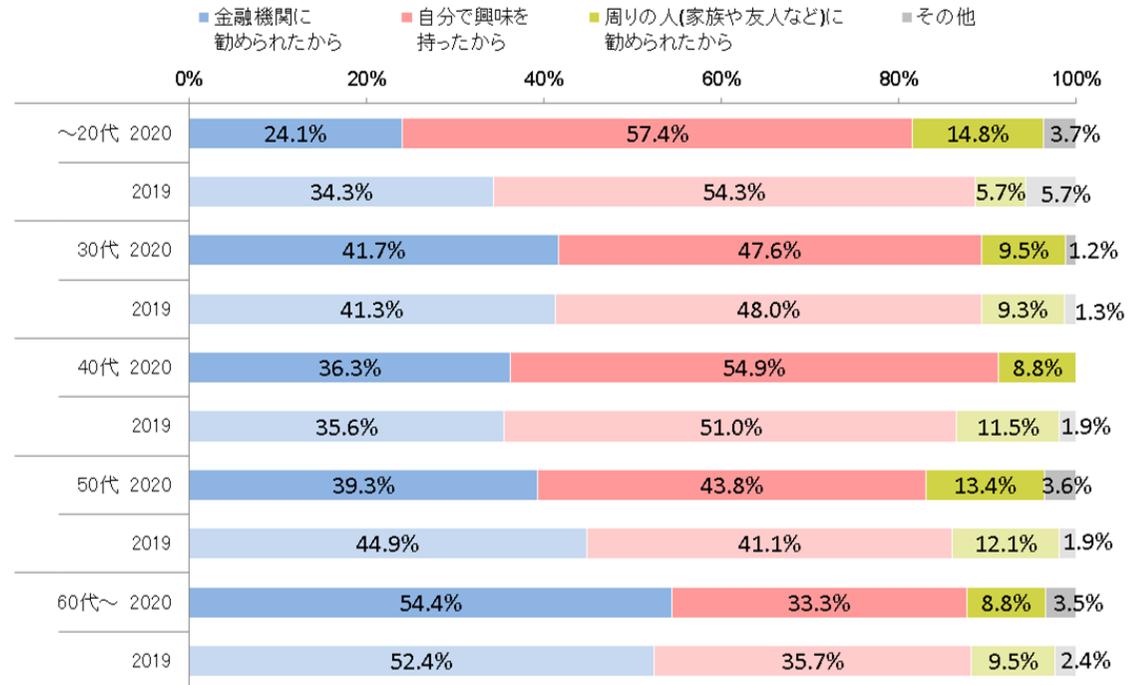
# 5. 資産運用について

## 5-5. 資産運用を始めたきっかけを教えてください。(いずれかにチェック)

### 全体



### 年代別



### 「自分で興味を持って」資産運用を開始

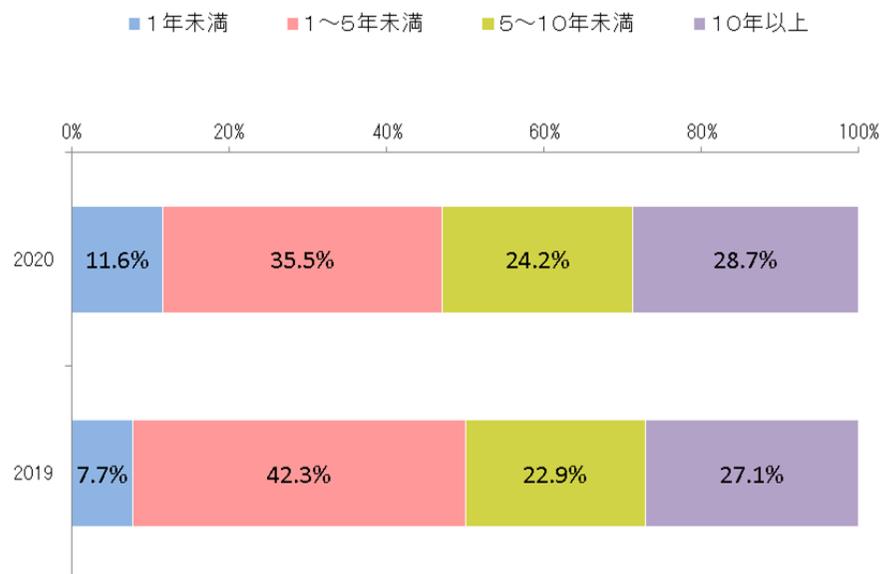
【全体】質問5-4. で資産運用を「している(74.7%)」と回答した人に資産運用を始めたきっかけを尋ねたところ、「自分で興味を持った(47.7%)」が前年比1.7ポイント増で高い割合となった。次いで「金融機関に勧められた(39.1%)」となった。

【年代別】ほとんどの年代で「自分で興味を持って」始めた割合が高かった。制度の認知度とともに、興味を持ち自ら情報収集をしている方が多いことがわかった。

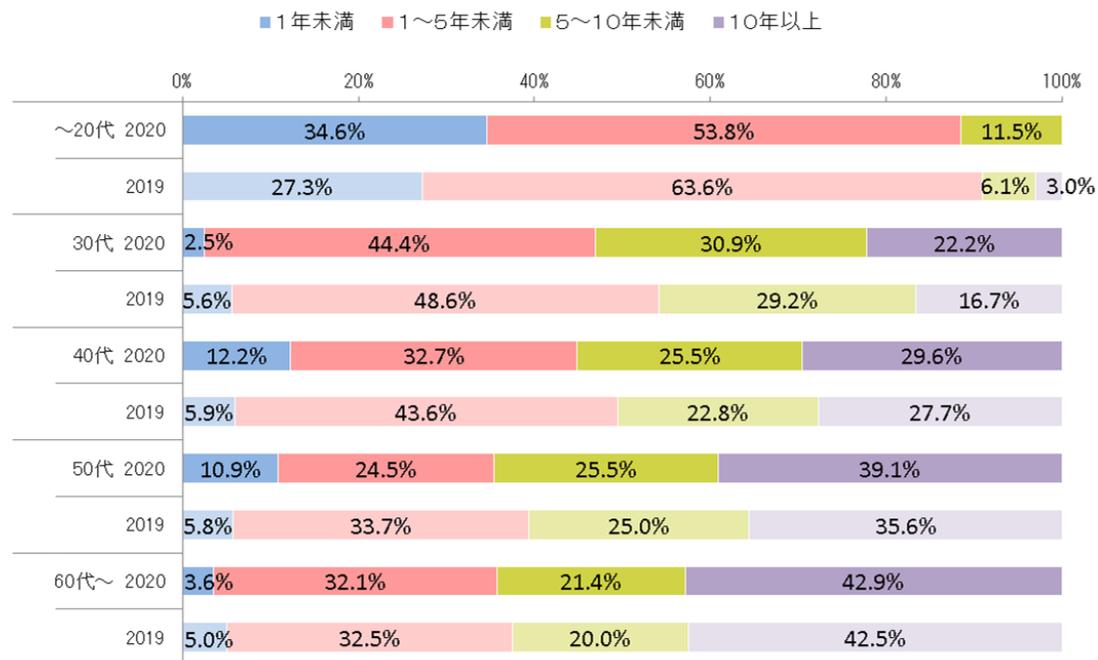
# 5. 資産運用について

## 5-6. 資産運用を始めてから何年になりますか？（いずれかにチェック）

全体



年代別



### 長い期間での資産運用が浸透

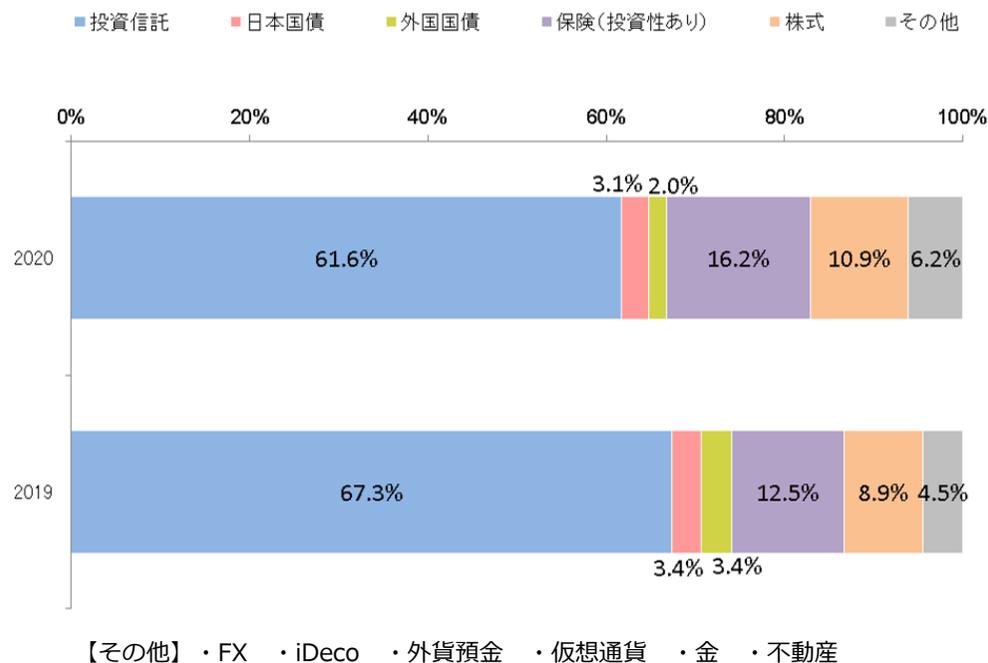
【全体】質問5-4. で資産運用を「している（74.7%）」と回答した人に、資産運用を始めて何年になるか尋ねたところ、「1～5年未満（35.5%）」が最も多い割合となった。「1年未満（11.6%）」も前年比3.9ポイント増加しており、この1年で新たに始めた人の割合も増えたことがわかった。

【年代別】特に20代で「1年未満（34.6%）」が前年比7.3ポイント増加しており、この1年で新たに始めた人が多く、30代以上のすべての年代では「10年以上」が前年比で増加しており、長期運用が浸透してきている。

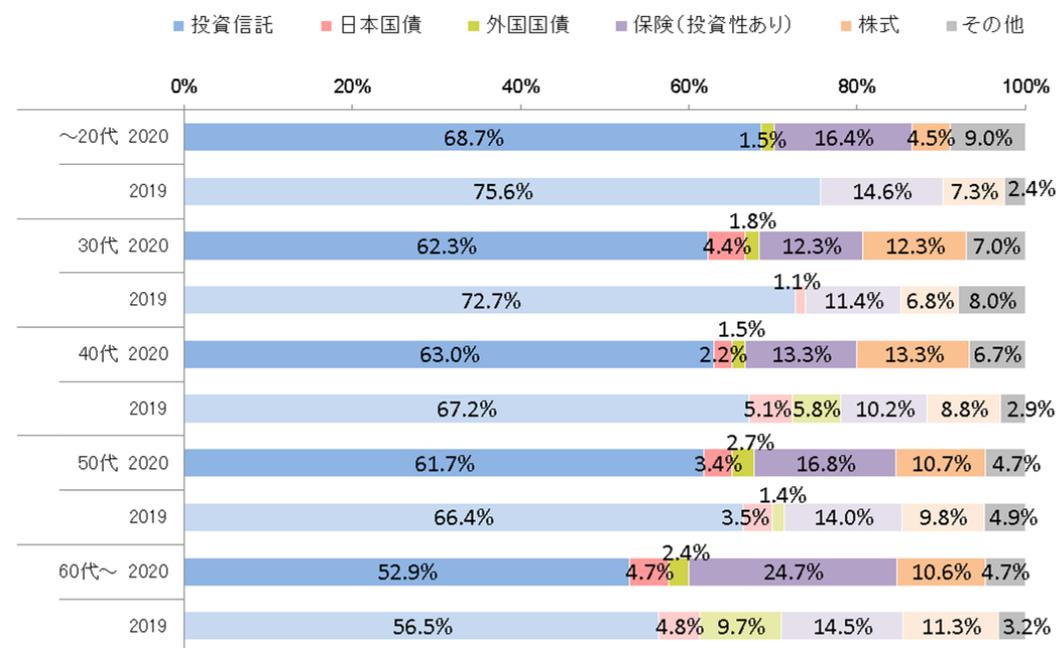
# 5. 資産運用について

## 5-7. どのような商品で資産運用をしていますか？（いくつでも）

### 全体



### 年代別



## ネットで取引できる投資信託が人気

【全体】質問5-4. で資産運用を「している74.7%」と回答した人に、どのような商品で資産運用をしているか尋ねたところ、「投資信託（61.6%）」が最も多い割合となった。

【年代別】すべての年代で「投資信託」の割合が減少し、「保険（投資性あり）」の割合が増加した。ネットから申し込み可能な「投資信託」は気軽に始められるため高い割合となった。

※本調査レポートは、当行ホームページにも掲載しております。  
(トップページ→「みちのく銀行について」→「調査レポート」)



発行：株式会社みちのく銀行 経営企画部広報室  
〒030-8622 青森市勝田1丁目3-1  
TEL：017-774-1274  
URL：https://www.michinokubank.co.jp/